

J R 大津駅再整備に向けた取り組み

本市の取り組みの現状と方向性の検討

(1) J R 大津駅利用者等に対するニーズ調査結果

- ・調査期間：平成25年11月8日～11月22日
- ・有効回収数：1,831件
- ・調査結果

① J R 大津駅再生に向けた望ましい姿について

琵琶湖観光や県都の玄関口として相応しい駅とすべき（55.7%）

② J R 大津駅に求める機能（利便性・快適性を高める機能）

外観の改修（56.6%） 観光案内所（43.8%）
バリアフリーへの配慮（40.9%） 多機能トイレ（40.1%）

③ J R 大津駅に求める機能（駅の付加価値を高める機能）

飲食店、土産物店、持ち帰り食品店（74.5%）
観光客向け地域特産品販売店舗（49.9%）
日常生活向け物品やサービス等販売施設（46.4%）
その他 行政窓口施設（28.8%） 図書館（24.3%）

④ 自由意見（問7（全記載数998件））

- ・県庁所在地の駅・県都の玄関口に相応しくない。（なにもないと言われる。暗く、古いイメージ。活気がない、日本一さびしい。相応しい外観。）（220件）
- ・商業施設が少ない。（百貨店、スーパー、コンビニ、日常の買い物が不便）（122件）

(2) ニーズ調査結果に基づく取り組みの方向性

- ・以下の取り組みを具体化するための検討

- ・建物の外観の改修
- ・観光案内所
- ・エスカレーターやエレベーターなどのバリアフリー対応
- ・多機能トイレ
- ・琵琶湖への眺望や交流・憩いのための空間の確保
- ・駅前広場の再整備（別途検討）

- ・財源の確保（国庫補助金を確保するための事業手法等の検討）

(3) 関係団体との協議の状況

- ・中心市街地活性化協議会運営会議への調査結果報告との意見交換（平成25年12月25日）

【意見要旨】

- ・大津らしい県庁所在地にふさわしいシンボル性が必要。コンパクトでも駅としての機能が充実したわかりやすい駅。ゆっくりとした時間を過ごせるような空間創り。
- ・一般送迎車両の利便性の向上に向けた駅前広場の再整備。（大津商工会議所から再三要望。）
- ・大津商工会議所経済政策委員会への調査結果報告（平成25年12月19日）
- ・大津商工会議所みらい・企画委員会との意見交換（平成26年2月3日）

J R 西日本の調査結果と取り組み方針

- (1) 調査結果：J R 単独での再生は厳しい
既存駅舎の改修（建替えはない）

(2) 取り組み方針

整備の方向性、今後のスケジュールについて、年度末に方針が得られるよう協議を進める。

本市の今後の取り組み・方針

